

本手順書はOPSにBIOS更新と設定確認をおこなうものです。

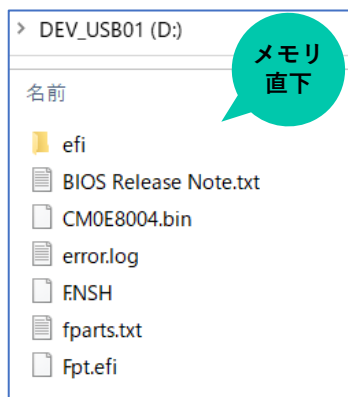
作業をおこなう際は本書記載の手順に沿っておこなってください。

作業に必要なもの

- ① 本手順書
- ② USBメモリ（※FAT32フォーマットしたもの。）
- ③ USBキーボード
- ④ 更新用データ（OPS_Windows11_BIOS.zip）

1. USBメモリへデータ格納準備

- ① 更新用データをダウンロードしてください。
- ② ダウンロードした更新用データを解凍して、USBメモリの直下へ下図のような形でデータコピーをおこなってください。



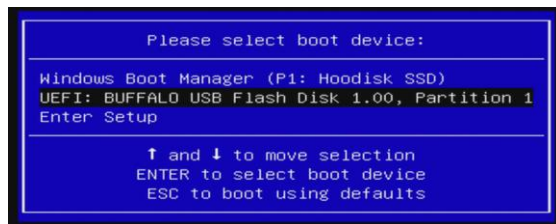
2. USBデバイスの接続準備

- ① OPSのUSBポートにUSBメモリとUSBキーボードを接続してください。※それ以外のUSBデバイスが接続されていたら作業中は外してください。

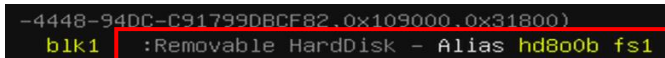


3. BIOS更新

- ① 電子黒板の電源をON後、入力を「PC」に切り替えてください。PC入力画面に遷移してOPS（PC）が起動を開始しましたら、USBキーボードの「F11」を何度か押してください。
- ② 「boot device選択」画面が表示されたら、接続したUSBメモリを選択してください。（参考）※機器によって異なりますが、「USB flash Disk」の表記がUSBメモリとなります。



- ③ 「shell」画面が表示されたら、表示画面上部の文字列が下図のように「Removable HardDisk」が「fs1」になっていることを確認してください。



※表記が異なり「Removable HardDisk」の部分が「fs1」以外の場合はその値を確認ください。

- ④ “Shell>” のところに③で確認した値を入力して「Enter」を押してください。

（図例）

Shell > fs1



- ⑤ 下図のように f を入力して「Enter」を押してください。処理が開始されます。

```
fs1:\> f
f> fpt.efi -f CM0E8004.bin -savemac
Intel (R) Flash Programming Tool Vers
Copyright (C) 2005 - 2020, Intel Corp
```

- ⑥ 更新が開始され、しばらくすると下図のように「FTP Operation Successful.」と表示されたら更新成功となります。

FTP Operation Successful.

- ⑦ キーボードの「Ctrl」+「Alt」+「Delete」を同時に押して再起動操作をおこなってください。

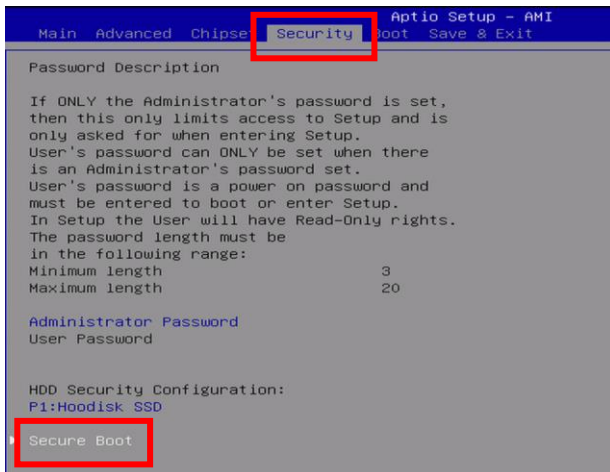
- ⑧ 再起動中にUSBメモリを取り外してください。

- ⑨ OPSが自動で2、3回再起動後Windowsのログイン画面（もしくはログイン後画面）になりましたら、もう一度再起動を選択してください。

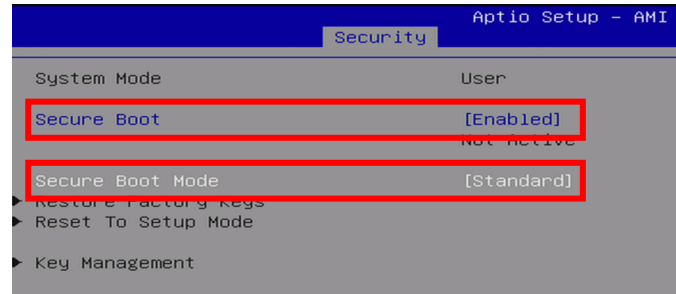
- ⑩ 再起動中にキーボードの「Delete」キーを何度か押してください。BIOS画面へ遷移します。

※BIOS画面へ遷移せずWindows画面になった場合はもう一度再起動して試してください。

- ⑪ BIOS画面へ遷移したらキーボード操作にて「Security」タブへ進み、「Secure Boot」を選択してください。



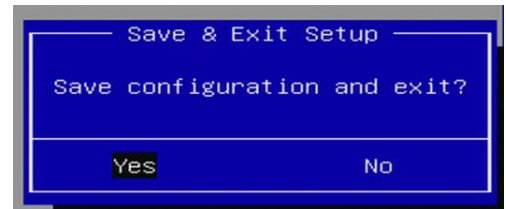
- ⑫ 「Secure Boot」画面へ遷移したら、下図のように赤枠項目の値を変更してください。



【変更項目】

Secure Boot : 「Enabled」
Secure Boot Mode : 「Standard」

- ⑬ キーボードの「F10」を押して下図画面が表示されたら、「Yes」を選択して「Enter」を押してください。



- ⑭ 再起動開始されてWindowsが起動してログインできれば作業完了となります。